

## 「第 59 回 ぼくらのひろば」 表彰式の開催 & 詩集第 59 号の発行



ターゲット 4. a TEL : 924-2438

2026 年 1 月 23 日  
教育委員会学校教育部  
学校教育推進課  
課長 佐藤 崇史

SDGs ターゲット 4. a 「全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供する」

郡山市内の小・中・義務教育学校の児童生徒から詩を募集し、優れた作品を表彰するとともに、「詩集 ぼくらのひろば 第 59 号」を発行します。

本年度は 1062 編の応募があり、その中から特選 20 編、入選 50 編、佳作 80 編の入賞作品が選ばれました。

### 1 表彰式

- (1) 日 時 1 月 31 日(土) 午前 10 時 30 分 ～11 時 40 分
- (2) 会 場 ミューカルがくと館 1 階・大ホール 郡山市開成 1 丁目 1-1
- (3) 出席者
  - ・特選に選ばれた児童生徒(20 名)と保護者
  - ・青い窓の会 代表 橋本 陽子 様
  - ・郡山市教育委員会学校教育推進課長
- (4) 内 容
  - ・表彰
  - ・講評・講話 審査委員長 青い窓の会代表 橋本 陽子 様
  - ・詩の朗読発表 小学生 2 名・中学生 1 名
  - ・記念撮影

### 2 「詩集 ぼくらのひろば 第 59 号」の発行

- (1) 掲載作品 入賞した詩
- (2) 150 編(特選 20 編・入選 50 編・佳作 80 編)
- (3) その他
  - ・詩集は市内の公民館や図書館でご覧いただけます。



あきあかね  
朝日が丘小学校 一年 大塚 結仁

おばあちゃんがトンボにへんしんして  
ぼくのおうちにあそびにきた  
おばあちゃんもぼくにいたかったの？  
ぼくもあいたかったよ  
かおをちかづけてみた  
ぜんぜんにげない  
ゆびをだしてみた  
ゆびののってきた  
あつ やつぱりおばあちゃんだ  
ますますうれしくなった  
いつでもおいでね  
またぼくのいるときにきてね

僕のこと  
安積中学校 三年 松本 夏輝

受験生になった  
周りの空気は以前と違い  
大人達も友達も  
キリリと引き締まった顔  
受験生になって  
背を押される  
目には見えない強力な何かに……  
プレッシャーや不安を  
感じる時もある でも……  
僕には行きたい高校がある  
かなえない夢もある だから……  
全力で受験に立ち向かっていくんだ  
全ての思いを受け入れて……

「詩集 ぼくらのひろば 第 59 号」

## ■ ■ ぼくらのひろば ■ ■

1967（昭和 42）年から毎年市内の児童生徒から作品募集、詩集を発行しています。

### ■ ねらいは

- ・ 児童生徒が継続的な詩の創作に取り組む機会を提供し、作品作りを通して感性を高め、豊かな心情を養う。
- ・ 優秀作品を選び、詩集「ぼくらのひろば」に収め、児童生徒が作品を通して年齢や地域を越えて交流する。

### ■ 経緯について

- ・ 1967（昭和 42）年、郡山児童文化協会（当時）と「ボクラのひろば」運営実行委員会の協力により、子供たちの自由な表現の場として始められました。詩の選考には、当時、児童詩活動をしていた佐藤 浩氏（青い窓の会主宰）が携わりました。
- ・ 2001（平成 13）年には、郡山市教育委員会の運営となり、『青い窓の会』の代表 橋本陽子 氏の協力により現在まで継続されています。
- ・ 1975（昭和 50）年 6 月号より「広報こおりやま」毎号に入賞した子ども達の詩が掲載されています。

### ■ 『青い窓の会』について

- ・ 1958（昭和 33）年 5 月、詩人 佐藤 浩 氏と仲間たちにより創始。現在の代表は橋本陽子 氏
- ・ 児童詩誌『青い窓』は令和 7 年 5 月で創刊 67 年を迎え、現在 620 号を数えます。
- ・ 子ども達の詩は太陽の匂いがします。子ども達に『よく見つめ、よく考え、ていねいに生きましよう』。そして、大人の社会に向かっては、『心も含めて、子どもの実像を見て下さい』と呼びかけて参りました。
- ・ 「青い窓から世界の窓へ。世界は空でつながっている。ふくしまから子どもたちの声を世界に届けよう」をコンセプトに、子どもたちの詩を英訳し、世界に広める活動もしています。

（青い窓の会様より）



青い窓ホームページ